

手術・処置・麻酔 同意書

患者氏名 様

手術名 人工妊娠中絶・流産手術・子宮内膜試験搔把
その他 ()

手術日 西暦 年 月 日

診断名 妊娠 週 日
その他 ()

起こりうる合併症・副作用について

- 1) 子宮内操作には、稀に子宮穿孔・頸管裂傷・周辺臓器の損傷などが起こる可能性があります。その場合、ほかの病院で修復手術を必要とすることがあります。
真空手動吸引のみで子宮内膜搔把を行わない場合はそのリスクは下がります。
- 2) 稀に子宮内膜再生不良や子宮内腔癒着により不妊症になることがあります。
真空手動吸引のみで子宮内膜搔把を行わない場合はそのリスクは下がります。
- 3) 稀に絨毛膜遺残により出血が長引き、再手術となることがあります。
- 4) 麻酔の副作用で、呼吸抑制、血圧低下、嘔気・嘔吐がみられることがあります。
術中のモニター、酸素投与、吐き気止めなどの薬剤投与により管理しますが、嘔気・嘔吐は人により強く出ることがあります。
- 5) しばしば、注射部位や点滴刺入部の疼痛、しびれ、皮下出血、しこり、血管炎（血管の走行に沿った発赤・腫脹・疼痛など）が発症します。また、薬剤や針自体の刺激により血管が炎症を起こすことがあります。手技を行うに当たっては、部位選択や刺入法について十分検討し、注意して行っておりますが、完全に回避するのは不可能です。針を抜いた後も点滴が入っていた側の腕で荷物を持ったりひじに荷物をかけたりすると発症しやすく、悪化しやすいです。ただし、多くの場合、時間の経過により治癒します。
- 6) 投与薬に対するアレルギーや副作用が起こることがあります。

上記のことについて 説明いたしました。

年 月 日

医師

上記の内容について説明を受け 了解・同意しました。

年 月 日

患者氏名

配偶者氏名